

平成 29 年度例題：免許資格職／専門（保育教諭）

〔例題 1〕 里親に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 里親の認定は、児童相談所が行っている。
2. 里親希望者は、住所地の福祉事務所に申込みをする。
3. 里親に児童が委託されると、習い事や旅行など養育費用の全ては公費で給付される。
4. 里親が委託児に対し、里親であることを告知するのは望ましくない。
5. 里親に対する支援は、児童相談所が中心となって行っている。

〔正答 5〕

〔例題 2〕 保育所保育指針の「保育所における保護者に対する支援の基本」に記載されている内容はどれか。

1. 保護者の利益を基本とし、子どもの福祉を重視すること。
2. 保護者とともに、子どもの学力向上の喜びを共有すること。
3. 保育に関する知識や技術などの保育士の専門性を生かすこと。
4. 保護者や子どもについて知り得た事柄は、いかなる場合も秘密を保持すること。
5. すべての保護者に共通した内容と方法で、養育力の向上を支援すること。

〔正答 3〕

〔例題3〕 乳児期の発達と遊びに関する記述として最も妥当なのはどれか。

1. 生後3か月頃には、目の前の玩具を布で隠すとその布を取り除こうとする姿が見られるようになる。見えたり隠れたりする「いないいないばあ遊び」などを取り入れるようにする。
2. 生後10か月頃から、積み上げた積み木が崩れることを喜ぶ姿が見られるようになる。牛乳パックの積み木など安全で軽量の素材の玩具を用意する。
3. 0歳児は、他児のことが気になって関わりたくなる時期である。みんなで楽しめる遊びや活動的な遊びの中で多様な人間関係を形成できるようにする。
4. 1歳頃になると、生活体験を再現してごっこ遊びを楽しむようになる。ものを見立てたり、何かのつもりになったりして遊べる環境を整えるようにする。
5. 2歳頃になると、親指と人差し指で何かをつまむなどの操作ができるようになってくる。マグネットを貼ったり外したりするなど二つの動作を楽しめる遊びを取り入れていく。

〔正答2〕